

## テレワークとは？

テレワークは、Tele(遠い・離れて)とWork(働く・仕事)を組み合わせでできた言葉で、「ICTを活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方」のことです。

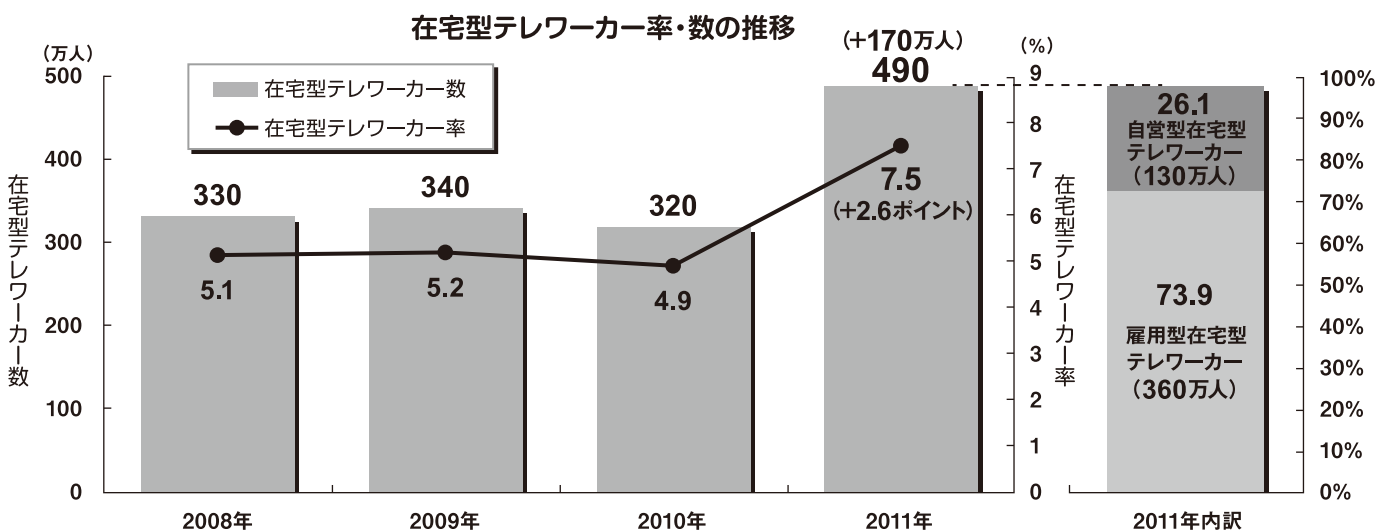
雇用されているかいないか、仕事をする場所が自宅かそれ以外かによって、下記のように区別されます。

雇用型	在宅勤務	ICTを活用して、自宅で働く
	サテライトオフィス勤務	会社、自宅以外の施設で働く
	モバイル勤務	ノートPCや携帯情報端末等を活用し、多様な場所で働く
自営型	SOHO	ICTを活用して自宅や小規模オフィスで働く個人事業者、小規模事業者
	ノマドワーク	コワーキングスペースなど、多様な場所で働く個人事業者
	在宅ワーク	自宅でICTを活用し、企業等との請負契約で働く

## 在宅型テレワーカーの推移

国土交通省の調査によれば、自宅で働く「在宅型テレワーカー」は2011年で約490万人。そのうち雇用されている人は360万人と推定されます。

インターネット環境の充実、多様なモバイル端末の普及などICTの急激な進歩とともにテレワーカー人口は増加しており、国もテレワークを積極的に推進しています。



(注) 在宅型テレワーカー率は、平成23年度テレワーク人口実態調査結果による、就業者に占める自宅(自宅兼事務所を除く)でテレワークを少しでも行っている(週1分以上)狭義テレワーカーの割合。  
在宅型テレワーカー数は、「平成19年就業構造基本調査」における雇用形態・性別・年齢別の分布や、「平成22年通信利用動向調査」におけるインターネット利用率により補正して算出している。

出典：平成23年度テレワーク人口実態調査